

# がまこり 議会 だより

## 1月市議会臨時会・3月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～ 8
議決された主な議案……………	8～ 11
令和8年度一般会計予算 477億 2,800万円	
議会日誌、5月臨時会・6月定例会予定等…	12

NO. **132**  
2026.5



# 一般質問…ここが論点

詳しい質問項目と動画はこちらから



3月市議会定例会中、3人の議員が会派を代表して質問し、14人の議員が個人質問を行いました。その中から要約を掲載します。詳しい内容は市立図書館等で会議録をご覧ください。ホームページの会議録検索システムをご覧ください。いずれも6月上旬に発行・掲載予定です。

日程	議員名	主な質問の項目 ※下線付の項目は質問と答弁の要旨を掲載しています。
3月3日(火)	自由民主党蒲郡市議団・無所属の会代表 青山 義明	<u>財政運営</u> <u>イネープリングシティ</u> <u>地震予知</u> <u>災害ボランティアセンター</u> 特別支援学校 <u>東港地区開発推進事業</u> <u>新たな最終処分場</u> サークュラーシティ
	蒲郡市政クラブ代表 来本 健作	<u>予算大綱</u>
	公明党蒲郡市議団代表 太田 哲也	<u>予算大綱</u>
	中野 香余	<u>中学校部活動の地域展開</u>
	大須賀 林	<u>林野火災</u> <u>湯水時における防火、消防活動の取組</u> <u>地域における防火対策</u>
3月4日(水)	伊藤 享佑	<u>京都大学との共同研究</u> <u>災害関連死防止策</u> 事前防災に資するインフラ整備と財源の確保
	鈴木 基夫	子どもの課題を「生物・心理・社会」の三側面から総合的に理解するBPSモデルを基盤とした子ども政策の体系化 <u>蒲郡版クアオルト</u> 災害時などの危機管理への対応
	八田 寿人	<u>小中学校のタブレット更新</u> <u>選挙（投票所、投票率）</u>
	芦刈 純奈	<u>ひとり親家庭の現状とその支援</u> <u>外国人児童生徒とその保護者への支援</u>
	日恵野 佳代	<u>市民の暮らしを支える幅広い支援</u> <u>竹谷町における土砂災害の原因究明</u> 公共施設の統廃合・複合化計画の見直し 自衛隊による蒲郡港の特定利用港湾指定および自衛艦入港
3月5日(木)	竹内 滋泰	<u>人口減少を見据えた持続可能な地域づくりと定住促進策</u> <u>妊娠・出産・育児の切れ目ない支援体制の構築と育休取得促進策（育休カバー手当）の導入</u>
	松本 昌成	<u>自転車交通違反への安全対策</u> <u>ヤングケアラー支援</u> <u>トモイクシートの活用</u>
	鈴木 貴晶	<u>学校におけるカスタマーハラスメントの対応</u> <u>サーキュラーシティ・ゼロカーボンシティ蒲郡における食品ロスの取組状況</u> 中日ドラゴンズ2軍本拠地の誘致
	千賀 充能	<u>公共交通</u> <u>住宅・建築物の土砂災害対策に関する補助制度の導入</u>
	牧野 泰広	<u>サーキュラーシティの未来</u> <u>観光のまちづくり</u>
	尾崎 広道	<u>24時間換気システムを活用した感染症対策</u> <u>防災会議での疑問</u> <u>魚市場仲買人</u>
鈴木 将浩	<u>広報がまごおり・回覧板</u> <u>デジタル給付</u>	

**問** 同センター設置訓練の実施状況を伺う。  
**答** 3年度から毎年1回、勤労福祉会館にて

**災害ボランティアセンターについて**

**答** 市民の実感を大切にしながら、引き続き分かりやすく説明し周知に努めたい。

**問** イネープリングシティという言葉が市民に浸透していないのではないかと。  
**答** 市民の実感を大切にしながら、引き続き分かりやすく説明し周知に努めたい。

**イネープリングシティについて**

**答** 令和6年度決算では、いずれも早期健全化基準値内であり、直ちに問題になる状況ではないと考えている。

**問** 将来負担比率・実質公債費比率の見通しについて伺う。  
**答** 令和6年度決算では、いずれも早期健全化基準値内であり、直ちに問題になる状況ではないと考えている。

**財政運営について**



**問** 4年間の継続費90億円の内訳を伺う。  
**答** 埋立地部分の建設工事費が約37億円、浸出水処理施設の建設工事費が約50億円、施工監理業務委託料が約3億円である。

**問** 新たな最終処分場について

**答** 観光客が楽しめる仕掛けについて伺う。  
**答** マルシェイイベントや、今後行われる市民や民間の活動を観光客が体験し、地域の人と交流することを考えている。

**問** 観光客が楽しめる仕掛けについて伺う。  
**答** マルシェイイベントや、今後行われる市民や民間の活動を観光客が体験し、地域の人と交流することを考えている。

**東港地区開発推進事業について**

訓練を行っている。



市政クラブ  
代表  
来本 健作

令和8年度予算大綱  
について

**問** 学校給食費無償化の8年度以降の見込みについて伺う。

**答** 小学校は国の交付金が交付される見込みであり、市の負担とあわせて、無償化を実施する予定である。また、中学校は、国の責任において早期に無償化が実現されるよう、国に求めていきたい。

**問** 市民病院の医師数の現状と今後、また経営状況と安定経営について伺う。

**答** 現在の医師数は75名で、8年4月1日には、4名増の79名となる見込みである。

経営状況は、医業収益の根幹となる入院・外来収益は前年度を上回るものの、医業費用は人件費や材料費等が増加しており、収支は

前年度を約1億円下回る決算を見込んでいます。今後、医師の増員等、安心安全で質の高い医療の推進に取り組みながら、医業収益の確保に努めていきたい。

**問** 市民病院新棟等整備の現状及び今後の見通しについて伺う。

**答** 建設資材等の高騰、繁忙による施工業者の人材不足等の中、規模を5階建てから3階建てに変更し、事業費の削減及び施工条件の緩和を図った。今後は、引き続き実施設計を進めつつ、厳しい建設市場環境に直面している状況下において、適切な発注時期等を見極めていきたい。



蒲郡市民病院



公明党市議団  
代表  
太田 哲也

令和8年度予算大綱  
について

**問** 中学生のための第3の居場所づくりの概要について伺う。

**答** 8年度に開設を目標としている中学生のための第3の居場所は、放課後や休日に中高生が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる場所を提供するものであり、市内在住の学の中中高生を対象としている。開設場所は、みや児童館1階、旧三谷デイサービスセンターを候補地として予定している。

**問** 8年4月から始まる妊婦に対するRSウイルス感染症の予防接種の概要や安全性について伺う。

**答** 接種の対象者は、妊娠28週0日から36週6日までの妊婦である。ワクチンを接種すると、抗体が胎盤を通じて赤

ちゃんに移行し、生後数か月間、保護することが期待されている。一方、10%以上の割合で起こる副反応としては、疼痛、頭痛、筋肉痛がある。

**問** 通学路のヒヤリハット情報の把握及び周知方法について伺う。

**答** 走行中の車両の急減速及びABS発生箇所、車速、交通量等のビッグデータを分析した危険箇所と、警察庁による過去の交通事故発生箇所等の危険箇所を組み合わせたヒヤリハットマップを作成し、各学校の児童生徒に配布し、公民館等の公共施設に掲示し情報提供を行う予定である。



RSウイルスリーフレット



中野 香余  
自民党市議団  
・無所属

中学校部活動の  
地域展開

**問** 部活動地域展開検討会の進捗状況について伺う。

**答** 令和7年度から教員長を含む関係課と校長代表で月1回から2回、定期的に検討会を開催し、その内容は地域団体との連携、指導者・会場確保、運営方法、費用負担等である。

**問** スポーツ協会、文化協会へのアンケート結果について伺う。

**答** 各協会加盟団体等へ指導者・講師派遣の可否等を調査したところ、指導者不足や継続的な講師確保が大きな課題と捉えている。

**問** 児童生徒、保護者へのアンケート結果について伺う。

**答** 休日部活動廃止後の活動希望を調査し、小中学生及びその保護

者5034人から回答を得た。文化・スポーツ教室の参加希望は児童生徒が男子26%、女子23%、保護者が40%であり、その一方で、休日はゆったり過ごしたいと回答した児童生徒が多く、子供と保護者の考えに差があることが分かった。

**問** 地域資源を生かした蒲郡型地域展開として、ジュニア吹奏楽団に対する市の評価は。

**答** 同楽団は地域展開の重要な受け皿の一つと考えている。学区を超えた活動で技術向上の場となっており、様々な大人と関わる中で学校だけではできない経験ができています。





大須賀林  
自民党市議団の  
・無所属

### 林野火災について

**問** 本年1月に相楽町で発生した山火事の概要と消火活動を伺う。

**答** 約3750㎡の林野が焼失したが、火事の原因特定には至っていない。消防署・消防団員による消火活動のほか、地元の人による農業用水の使用、三重県防災航空隊による上空からの消火を行った。

**問** 林野火災における本市の防火対策を伺う。

**答** 1月1日より林野火災注意報及び警報の条例の運用を開始し、SNS等で周知している。春の火災予防週間には広報や山間部の巡視警戒をしている。

### 渇水時における防火、消火活動の取組

**問** 節水強化中や断水時に火災が起きた際に

のように対応するののか。  
**答** 節水が強化された場合は大型水槽車や河川、海水など自然水利を併用し消火活動を行う。断水時は消火栓が使用できないため、節水時と同様に自然水利などを併用するが、さらに不足する場合は隣接地域などへの応援要請も視野に入れている。

### 地域における防火対策について

**問** 市内のホース格納箱で窃盗被害があったと聞くが、市が補充する予定はあるのか伺う。  
**答** 資機材は各地区の予算で整備されているため市費の補充は考えていない。



蒲郡市消防本部



伊藤享佑  
市政クラブ

### 京都大学との共同研究について

**問** OHBシステムの構築状況や進捗を伺う。

**答** 市役所新館屋上に観測用アンテナを設置し、グローバル衛星が捕捉可能となった。電離層及び地殻変動による異常を検知することでリアルタイム測位の精度向上が期待される。  
**問** 今後の取組を伺う。  
**答** 事前防災として消防や病院、学校施設等への連絡、避難所の開設準備及び市民への二次災害予防、避難場所への事前避難が考えられる。市民に対し防災訓練でのシステムの周知も必要と考える。

### 災害関連死防止策について

**問** 発達障害や自閉症等の特性により、やむを得ず在宅・車中泊避

難を選択する世帯がある。配慮が必要な避難者として、福祉サービスを優先的に提供する仕組みを検討しているか伺う。  
**答** 現時点で、福祉サービスを優先的に提供する仕組みは検討していない。まずは避難場所の優先確保が重要と考えており、昨年、福祉避難所として新たに放課後等デイサービス事業所と協定を結んだ。また、市内の旅館やホテルの一部を福祉的ケアが必要な世帯へ提供する等、安心できる避難場所を確保した上で、福祉サービスを迅速に提供できる仕組みづくりを検討したい。



鈴木基夫  
自由クラブ

### 蒲郡版クアオルトについて

**問** クアオルトは単なるウォーキングではなく、専門家がしっかりと監修をし、負荷量や気候刺激を計算し、効果を測定する処方せんとしてのウォーキングと言われていて伺う。導入可能性について伺う。

**答** 本市には三河湾や里山など、豊かな自然環境や温泉を初めとした豊富な観光資源もあり、気候や地形を生かした健康づくりを展開できる素地があると認識をしている。

現在、クアオルト健康ウォーキングアワード2025に応募し、一次審査を通過しており、今後は二次審査の結果を踏まえ、関係機関と連携した住民参加型の蒲郡版のクアオルト健康ウォーキングに

ついて検討していきたい。  
**問** 実践するために、企業や学校等との関わりをどのように考えているか。  
**答** 市民全体が世代を超えて、日常の中で取り組むには、市民向けの健康ウォーキング教室の開催や、企業や学校と連携した取組等も進める必要があると考えている。

企業であれば、健康経営の一環として取り入れたり、学校では通学路や日常生活の中で歩きながら、健康づくりとあわせて、地域への関心や愛着を育む可能性を秘めていると考えている。





八田 寿人  
自民党市議団  
・無所属の会

小中学校のタブレット更新について

**問** 端末の処分に伴う体験型授業を伺う。

**答** 今回処分する端末は、子どもたちが使っていた端末を自らの手で分解、分別し、資源循環を学ぶため、市内7小学校で処分予定のタブレットを活用した体験型授業を実施した。

**問** 子どもの目の健康について、タブレット使用後に目を休ませるための指導を伺う。

**答** 教育委員会としては、校長や教職員に対し、長時間の連続使用を避け、適切に休息を入れる指導を行うことや、正しい姿勢や画面と目の距離を保つための指導の継続等を周知するとともに、各校では、子どもたちの目の健康にも留意して授業を行っていき。今後も、



ICTの効果的な活用と健康面への配慮の両立を図りながら、子どもたちが安心して学習に取り組める環境づくりに努めていく。

**選挙（投票所、投票率）について**

**問** 期日前投票所がバリアフリーだと周知することについて伺う。

**答** これまで広報がまごおりで完全バリアフリーの文言で利用しやすさをお知らせしてきた。今回は急な選挙で広報への掲載はできなかったが、今後は市民に、期日前投票所が利用しやすい施設であることをわかりやすく周知していく。



芦刈 純奈  
自民党市議団  
・無所属の会

ひとり親家庭の現状とその支援について

**問** 親子交流に関する支援を行う支援団体もあり、法務省では参考指針を出している。この指針を参考に本市も親子交流を支援してはどうか。

**答** 親子交流支援団体等は法務省のホームページで一覧表が公表されている。県内の支援団体は3団体でいずれも名古屋市を拠点に活動している。本市も、安全・安心な親子交流の実施に向けて参考指針も参考にしながら取り組みたい。

**問** 離婚後の養育費の支払いについて、ひとり親家庭の安心につながる情報提供を市が進めるべきではないか。

**答** 養育費の支払いを取り決める公正証書等を作成するための補助

金が本市にはある。補助金の活用等を含めて市ホームページやパンフレット等で必要な情報の提供や相談・支援に取り組んでいく。

**外国人児童生徒とその保護者への支援**

**問** 日本語初期適応指導教室の新設、拡充における課題を伺う。

**答** 授業時間数の確保のほか、語学補助員による支援を必要とする児童生徒の増加により、支援が追いついていない現状がある。指導者や指導教室設置校における教室の確保、空調やプロジェクト等の環境を整備する必要がある。



日恵野 佳代  
無党派・日本共産党

市民の暮らしを支える幅広い支援について

**問** 国の大学就学支援新制度が始まるが、利用できない世帯への支援が必要ではないか。

**答** 本制度の要件において、特に給付型で支援が必要な世帯に該当しない点や、本制度以外の奨学金を利用できること等を鑑み、現時点で市独自の支援は考えていない。

**問** 本市はかつて繊維業や宿泊業に勤める女性が多く、その方々は低年金だと思ふ。40代以上の単身女性の年代別人数、平均年収や困難の実態を伺う。

**答** 2020年の国勢調査によると、40歳以上の単身女性の年代別人数は9353人。単身女性の年代別の平均年収の統計データはないが、厚生労働省の令

和4年の国民生活基本調査の中では、相対的貧困率は男性より女性の方が高く、特に65歳以上世代の差が大きい。本市では8年4月がまごおりジェンダー平等プラン2031を策定し、女性のための相談窓口を開設する。

**竹谷町における土砂災害の原因究明**

**問** 遺族の方は納得されていない。原因究明のための第三者調査委員会を設置すべきではないか。

**答** 土砂崩れ現地調査チームは、専門的な知見に基づき公正で客観的な視点から必要な調査を実施したと考える。



がまごおりジェンダー平等プラン2031



竹内 滋泰  
市政クラブ

持続可能な地域づくりと定住促進策

**問** 人口減少が進む中で、持続可能なまちづくりを実現するための市の総合的な方向性と、今後、重点的に取り組む施策について伺う。

**答** 既存事業の見直しや効率化を進めながら、第五次総合計画を柱として、持続可能な市政運営に取り組んでいく。合わせて、市民が幸せを実感し、一人一人が自分らしく、心身ともに健康で暮らせるイネープリングシティを推進するとともに、子育て世代のほか若年女性の移住定住につながる施策についても検討を進め、さらに選ばれるまちを目指していく。

育休取得促進策の導入について

**問** 市職員の育児休暇

取得率を伺う。

**答** 女性職員の取得率は100%となっており。男性職員も取得者は年々増加しており、令和6年度は73・3%となっている。

**問** 周囲で支える人達にも目を向けることが安心して育休を選べる環境づくりになると考える。育児休業者の業務をカバーする職員に「育休カバー手当」を導入する考えを伺う。

**答** 一宮市がこの3月議会会で条例改正案を提出したと聞いている。今後の状況等も注視しながら、職員が安心して育児休業を取得できる環境整備のあり方について検討していく。



第五次総合計画



松本 昌成  
公明党市議員

自転車交通違反への安全対策について

**問** 本年4月から始まる青切符制度について市民へどのような広報・啓発をしているか。

**答** 蒲郡警察署など関係機関と連携し周知活動を行っている。各地区の交通安全推進協議会等への説明や協力依頼を行い、市内の交通安全キャンペーンや学校等にちらしを配布しているほか、市公式LINE等での周知も予定している。

ヤングケアラー支援について

**問** 切れ目ない支援の構築、個別支援計画の作成や継続的フォローアップをどうするか。

**答** 本市では、関係機関と連携した横断的な支援体制の中、子ども本人の意向や状況変化

に応じた柔軟な支援設計を重視している。引き続き継続的なフォローアップを実施していきたい。

トモイクシートの活用について

**問** 子育てや家庭支援の観点から、シートの利用にはどのような効果があると考えるか。

**答** トモイクシートの活用により、パートナーがお互いの負担を分かち合い、平等に家事や子育てができる家庭が増えることは、本市が目指すジェンダー平等社会「多様な個性を生かした魅力のあるまち」の実現につながるものと考えている。



鈴木 貴晶  
自由クラブ

学校におけるカスタマーハラスメントの対応

**問** 学校現場におけるカスタマーハラスメントが報告されている中、小中学校に録音機能付き電話機を早急に設置すべきだと思うが、市の考えを伺う。

**答** 録音機能付き電話機の導入は、カスタマーハラスメントの抑止や、事実確認のための有効な手段であると認識をしている。現在、導入に必要な費用の他に、市内小中学校の電話設備の状況や、録音データの管理方法等について調査を進めている。今後、個人情報保護の観点も踏まえつつ、他の事例も参考にしながら、導入可能性の検討を進めていく。

食品ロスの取組状況

**問** 「タベスケ」は、消費期限の近い食品をお店がアプリに出品し、購入希望者とマッチングする仕組みである。導入について、事業者にアンケートを行いニーズを確認してはどうか。

**答** 食品ロス対策に寄与する可能性があるだけでなく、商店街等の経済活性化にもつながることが考えられる。しかしながら、導入自治体から受取時間を守らない等のルールトラブルや食品衛生上の問題等の課題があると聞いている。総合的に考え、まずは市内店舗の利用意向の把握が重要であると考えている。





千賀充能  
自民党市議団  
無所属の会

公共交通について

**問** 市は交通空白地や交通利便性をどのような指標や基準を用いて評価しているのか。またその評価が住民の利用実態や実感と乖離していないか。

**答** 昨年、塩津地区支線バスの運行開始により、市内の交通空白地は、概ね解消されてきたと考える。しかし昨年8月に実施したアンケート結果では、公共交通での移動に不便を感じていると答えた人の割合は35・7%で、前回5年前の調査結果より4・7ポイント悪化している。主な理由は、自宅からバス停が遠い、便数が少ないとの回答が多く、特に足の悪い高齢者には、バス停までの移動が困難目的の地まで公共交通で

移動できないといった課題の指摘がある。交通空白地の解消が進んでいるが、市民の実感としては、課題が解決されたと言えない状況と認識している。

住宅・建築物の土砂災害対策に関する補助制度の導入

**問** 国・県の補助を受け、市が主体的に市民の命を守るための補助制度が必要と思うかどうか。

**答** 補助要件に合致する建物が市内にどの程度あるのか、他の補助制度や補助制度以外の対応の検討も含め、本市の現状にふさわしい方法を調査検討し、実施を判断していく。



くるりんバス



牧野泰広  
自由クラブ

サーキュラーシティの未来について

**問** 市の資源回収における分別種類を増やしリサイクルを進める必要がある。分別の種類を増やしてはどうか。

**答** 令和8年4月より新たにプラスチック製品の分別回収を実施予定である。現在のプラスチック製容器包装の黄色のネットにプラスチック製品も入れる対応とし、回収後に再分別を行う予定である。

観光のまちづくりについて

**問** 直近の入湯税額と使用用途を伺う。

**答** 4年度は5121万円、5年度は5570万9千円、6年度は5881万6千円であった。観光振興施策として泉源や施設維持、観光誘客施策等に活用

されている。  
**問** 温泉地活性化に向け、宿泊税の導入や入湯税の増額、泉源維持管理事業費補助金を基金化し、廃業した旅館の解体等に充てるべきではないのか。

**答** 宿泊税は事業者の事務負担や課税による競争環境への影響も懸念される。入湯税の標準税率を超える税率設定は可能だが、利用客の直接的負担が増えるため慎重な議論が必要である。補助金の基金化もどの状況や目的で使うのか、総事業費に対する基金投入率の設定等の課題があるため慎重に検討すべきである。



尾崎広道  
自由クラブ

24時間換気システムを活用した感染症対策

**問** 感染症リスク回避に住宅の24時間換気システムが有効でないか。

**答** 換気量が十分と確認されれば有効と思われるが、複数手法の組み合わせが望ましい。

防災会議での疑問について

**問** 大規模災害時、通信制限で119番通報がつかない場合は、

**答** 繰り返し119番してほしい。場合により豊橋の消防指令センターから蒲郡消防へ回線切替も想定している。

**問** 救急車が来ず、自分の車で医療機関へ連れて行く場合の考えは。

**答** 道路等の情報を収集してから行動してほしい。大規模災害時は各中学校に医療救護所を開設するのでまずこ

ちらを受診してほしい。  
**問** ドローンで、火災情報を中継できないか。  
**答** 消火活動への支障のおそれや個人情報保護の観点から難しい。

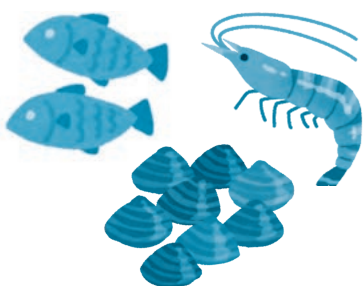
魚市場仲買人について

**問** 漁業にはなくてはならない仲買人について、現状の把握は。

**答** 高齢化が進んでいる。水揚量減少で、経営は厳しい状況にある。

**問** 仲買人への支援策を伺う。

**答** 資金繰りや事業展開への補助がある。仲買人が事業継続し、魚市場を守り続けてもらえるよう、支援のあり方を研究していく。





鈴木将浩  
自民党市議団  
・無所属の会

広報がまごおり・  
回覧板について

**問** 回覧板の地域負担  
に対する市の考えは。

**答** 地域の役員からも  
相談があり、仕分け作  
業の軽減対策や、一部  
デジタル化に向けた対  
応を検討している。

**問** 回覧板・広報紙の  
デジタル化の展望は。

**答** 検討できる環境は  
整いつつあるが、デジ  
タル対応が困難な世帯  
もあることを踏まえて  
検討していく。

**問** 広報紙配布を業者  
へ委託してはどうか。

**答** 負担軽減になるが、  
自治会への事務委託費  
縮小にもつながるため、  
慎重に判断していく。

**問** 自治会のデジタル  
化推進のため、資金面  
の支援をしてはどうか。

**答** 積極的に進める自  
治会があれば、資金面  
も含めて支援策を検討

デジタル給付  
について

したい。

**問** LINEの活用を  
検討してはどうか。

**答** 幅広い年齢層にも  
使いやすいが、一律給  
付には適していないと  
考えている。

**問** デジタルギフトや  
ATMでの現金受取を  
検討してはどうか。

**答** 利便性が高い反面、  
市内経済活性化の側面  
を考慮する必要もある。

**問** デジタル給付を円  
滑に導入できる体制を  
整えるべきではないか。

**答** 短期間での給付・  
支援のため、最適な手  
法が示せるように引き  
続き研究していく。



## 令和8年度一般会計予算などを議決

1月市議会臨時会は、1月30日に1日の会期で開き議案2件を審議しました。

3月市議会定例会は、2月26日から3月23日までの26日間の会期で開き、議案39件を審議しました。令和8年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。

1月臨時会  
3月定例会  
議案

1月臨時会

臨時会は、必要のあるとき、特定の事件に限りこれを審議するために招集される議会です。

1月臨時会は、物価高騰等に伴う農業・漁業経営者、子育て世帯等への支援金の予算計上や、塩津地区及び西浦地区学校複合施設建設事業の継続費を変更する必要が生じたため招集されました。併せて、本年2月8日に執行された衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に関する補正予算の専決処分の承認について審査されました。いずれも可決・承認されました。

3月定例会

予算審査  
特別委員会から

2月26日の本会議で、正副議長を除く18人の委員で構成する予算審査特別委員会（委員長 鈴木将浩、副委員長 太田哲也）が設置されました。委員会では、3月12日、13日、16日、17日の4日間にわたり、令和8年度一般会計予算など11会計の予算を慎重に審査し、全会計の予算を可決すべきものと決しました。

### 3月定例会の日程

- 《2月》  
26日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、予算大綱説明、議案説明、質疑、討論、採決など〕  
予算審査特別委員会
- 《3月》  
3日 本会議〔一般質問〕  
4日 本会議〔一般質問〕  
5日 本会議〔一般質問〕  
議会運営委員会理事会  
議会運営委員会  
9日 総務委員会  
10日 経済委員会  
11日 文教委員会  
12日 予算審査特別委員会  
13日 予算審査特別委員会  
16日 予算審査特別委員会  
議会運営委員会理事会  
議会運営委員会  
17日 予算審査特別委員会  
23日 本会議〔委員長報告、議案説明、質疑、討論、採決など〕

●総務費  
女性相談・DV相談支援事業費

**問** 相談対応の体制を伺う。  
**答** 現在、DV相談窓口は月曜と木曜に、午前9時から午後4時まで開設し、一定の資格や経験のある相談員2名で対応している。女性相談窓口は本年6月下旬頃の開設を目指し準備していく。

**問** 相談者の秘密保持と相談場所の安全性を伺う。  
**答** 相談者の情報は原則部外秘だが、必要に応じ関係機関へ連携する際は本人から情報共有の可否について事前に承諾を受けてから情報を提供している。相談場所は非公開とし、相談者の身の安全が確保される環境で対応している。

●衛生費

若年がん患者在宅療養支援事業費補助金

**問** 事業内容を伺う。

**答** 対象者は40歳未満の終末期がん患者で、在宅における療養生活の支援及び介護が必要な人としている。

補助対象のサービスは、訪問介護、訪問入浴等の在宅サービス及び福祉用具の貸与と購入で、費用月額9割、5万4000円を上限に助成を行っている。

**問** 支援が必要な人への周知はされているのか。  
**答** 市ホームページへ掲載しているほか、医療や福祉介護の関係者が対象となる人を把握した際、この事業を伝えることが重要と考え、今後も関係機関と連携し周知に努めたい。

●商工費

アイアンマンレース開催支援負担金

**問** 何を支援していくのか。  
**答** コースを利用した練習会のイベント開催や地元特産品を用いた商品開発等を実施し、大会を活用した地域活性化を予定している。

**問** 今後の予定を伺う。  
**答** 令和8年度に実行委員会及び協議会の立ち上げが予定されている。その後、地元調整等を含めコースを設定し、9年度に選手エンタリー、10年度にアイアンマンレースが開催されると

聞いている。

●消防費

MCA無線等管理運営事業費

**問** 公共安全モバイルシステムの内容を伺う。  
**答** 平成29年度に整備した260MHz帯移動系防災行政無線の後継であり、政府が推進する公共機関専用として提供されるモバイルサービスである。

**問** 現行の移動系防災行政無線との違いは。  
**答** 現行の無線は、不感地帯の施設では電波が届かないといった課題があった。公共安全モバイルシステムでは、携帯電話会社の通信網を利用することから、スマートフォンが圏外となる施設はなく、適切な通信手段を確保することができる。

○水道事業会計

年度末給水栓数は3万5145栓、1日平均給水量2万4301mを予定しており収益的収支は1億7220万円の赤字予算です。

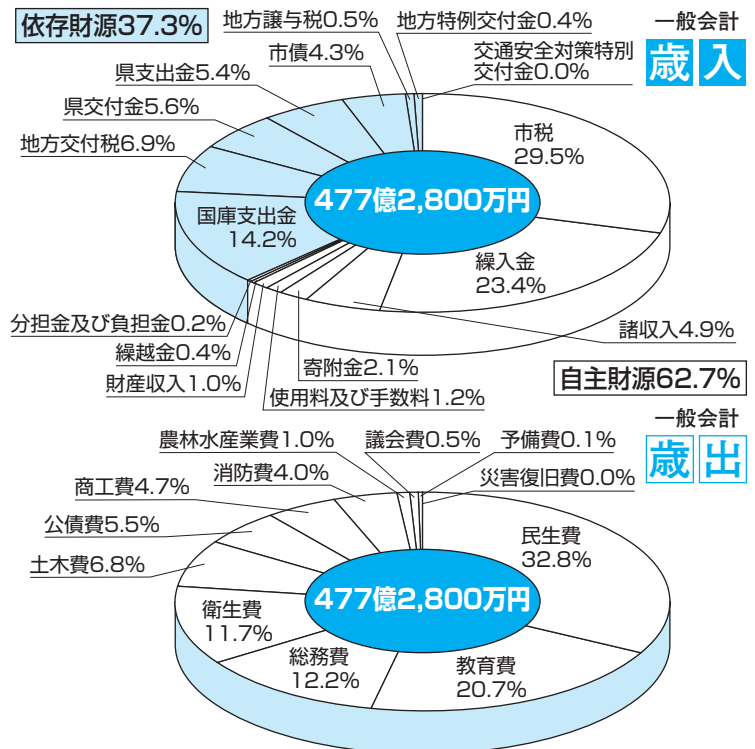
○下水道事業会計

処理区域面積は1400ヘクタール、処理区域内人

令和8年度予算

(単位：万円)

会計別	予算額	前年度比
一般会計	477億2,800	3.5%減
特別会計		
国民健康保険事業	75億7,400	2.0%減
後期高齢者医療事業	27億9,610	1.3%減
土地区画整理事業	8億2,740	6.8%減
公共用地対策事業	5億7,400	234.7%増
三谷町財産区	2,520	35.5%減
西浦町財産区	1,390	5.4%減
小計	118億1,060	1.2%増
企業会計		
水道事業		
収益的	21億7,940	2.8%増
資本的	21億7,590	25.2%減
下水道事業		
収益的	32億6,800	15.2%増
資本的	41億4,640	6.3%減
病院事業		
収益的	120億4,740	6.6%増
資本的	16億1,010	14.5%減
モーターボート競走事業		
収益的	1,714億3,700	5.3%減
資本的	21億7,220	43.2%減
小計	1,990億3,640	5.3%減
合計	2,585億7,500	4.7%減



## 1月臨時会で議決された令和7年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第6号)	物価高対応子育て応援手当支給事業費 (市負担分) 1億2,150万円	6億2,282 万円	572億3,398 万円
	物価高騰対応重点支援事業費 農業経営者物価高騰対策支援金 3,100万円		
	漁業経営者物価高騰対策支援金 350万円		
	プレミアム付商品券発行事業費補助金 4億6,500万円		
	継続費補正(塩津地区個別計画に基づく 複合施設建設事業) 令和6~10年度 変更前:総額 78億4,290万円 変更後:総額 86億2,320万円		
継続費補正(西浦地区個別計画に基づく 複合施設建設事業) 令和6~10年度 変更前:総額 65億3,860万円 変更後:総額 65億8,040万円			

口は6万1,887人、年間有収水量は621万5,392m<sup>3</sup>を予定しており、収益的収支は1億4,650万円の赤字予算です。

○病院事業会計  
1日平均入院患者数を316人、外来は700人と見込み、収益的収支は7億5,410万円の赤字予算です。

○モーターボート競走事業  
年間200日の開催を予定し、収益的収支は8億3,760万円の赤字予算です。

この会計から、一般会計に9億円、土地区画整理事業特別会計に6億円、下水道事業会計に13億7,500万円、病院事業会計に22億9,000万円を支出します。

## 3月定例会で議決された令和7年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第7号)	防犯カメラ設置工事費 154万円	1億1,147 万円	573億4,545 万円
	特定区画バス運行補助金 1,195万1千円		
	住民票等証明書コンビニ交付事業費 107万8千円		
	戸籍情報システムデータ変更委託料 184万8千円		
	振り仮名法関連対応委託料 405万4千円		
	日中一時支援費 70万円		
	障害福祉サービス費 4,100万円		
	障害児通所サービス費 800万円		
一般会計 (第8号)	物価高騰対応重点支援事業費 私立保育園等給食費軽減対策支援金 362万2千円	2,500 万円	573億7,045 万円
	私立保育園保育実施委託料 1,522万1千円		
	新最終処分場整備事業費 土壌汚染詳細調査委託料 2,500万円		

## 陳情

○「庁舎内における政党機関紙勧誘行為」において東京都新宿区での対応事例に鑑み、蒲郡市が実施した「政党機関紙に関するアンケート結果」を真摯に受け止め、市職員を心理的圧力から保護する措置を求める陳情

提出者 自治体職員をハラスメントから守る愛知県民の会  
代表 高木 健吉

審査結果 採択

## 委員会の行政視察等の報告

1月に総務委員会が行政視察を行いました。視察地や視察事項をお知らせします。

### 総務委員会 1月21日~22日

大阪府寝屋川市  
・寝屋川市働き方改革推進プランについて

大阪府枚方市  
・防災備蓄品管理システム、逆プロボによる防災DXについて

兵庫県加古川市  
・スマートシティ、Desidim、行政情報ダッシュボード@防災について



# 委員会通信

賛否が分かれた議案

※大場康議員は議長職により採決には参加していません

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	会派・議員名	自由民主党蒲郡市議団 ・無所属の会								蒲郡 自由クラブ				蒲郡 市政クラブ				公明党 蒲郡 市議団		無会派
			大場 康議	千賀 充能	芦刈 純奈	中野 香余	藤田 裕喜	鈴木 将浩	青山 義明	大須賀 林	八田 寿人	牧野 泰広	鈴木 基夫	鈴木 貴晶	尾崎 広道	来本 健作	新実 祥悟	伊藤 享佑	竹内 滋泰	大田 哲也	松本 昌成
1月臨時会																					
1	令和7年度一般会計補正予算(第6号)	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
3月定例会																					
4	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部改正	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
6	行政手続条例の一部改正	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
7	市税条例の一部改正	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
10	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
12	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
13	乳児等通園支援の利用可能時間に関する経過措置を定める条例の制定	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
15	子ども医療費助成条例等の一部改正	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
16	国民健康保険税条例の一部改正	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
17	市民病院特定認定再生医療等委員会条例の一部改正	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
23	工事請負契約の変更(塩津地区学校複合施設建設工事)	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
24	工事請負契約の変更(塩津地区学校複合施設建設電気設備工事)	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
25	工事請負契約の変更(塩津地区学校複合施設建設機械設備工事)	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
26	工事請負契約の変更(西浦地区学校複合施設建設工事)	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
27	工事請負契約の変更(西浦地区学校複合施設建設機械設備工事)	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
28	令和8年度一般会計予算	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
29	令和8年度国民健康保険事業特別会計予算	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
30	令和8年度後期高齢者医療事業特別会計予算	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
36	令和8年度下水道事業会計予算	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
38	令和8年度モーターボート競走事業会計予算	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
39	令和7年度一般会計補正予算(第7号)	議長	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

全会一致で承認・可決・同意した議案 (○内の数字は議案番号)

- ②専決処分の承認(令和7年度一般会計補正予算(専決第1号))
- ③初任給調整手当の支給に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- ⑤職員の旅費に関する条例の全部改正
- ⑧固定資産税等の課税の特例に関する条例の一部改正
- ⑨消防団条例の一部改正
- ⑪火災予防条例の一部改正
- ⑭児童発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
- ⑱少人数学級編制の実施に係る市費負担教員の任用、給与等に関する条例の一部改正
- ⑲監査委員の選任
- ⑳市道の路線廃止
- ㉑工事施行に関する基本協定の変更(東海道新幹線292k439m付近第三鉄砲跨線橋の補修工事)
- ㉒東京都六市ボートレース事業組合が開催するモーターボート競走施行に係る事務の受託に関する協議
- ㉓令和8年度土地区画整理事業特別会計予算
- ㉔令和8年度公共用地対策事業特別会計予算
- ㉕令和8年度三谷町財産区特別会計予算
- ㉖令和8年度西浦町財産区特別会計予算
- ㉗令和8年度水道事業会計予算
- ㉘令和8年度病院事業会計予算
- ㉙令和7年度一般会計補正予算(第8号)
- 議員提出①市議会委員会条例の一部改正

# 議会日誌

12月16日から3月23日

## 1月

- 19日 議会運営委員会理事会
- 21日～22日 総務委員会行政視察
- 22日 1月臨時会招集告示
- 26日 議会運営委員会理事会  
議会運営委員会  
市議会議員研修会
- 30日 1月臨時会  
議会運営委員会理事会

## 2月

- 16日 議会運営委員会理事会
- 18日 3月定例会招集告示  
議案説明会、当初予算説明会
- 24日 議会運営委員会
- 26日～3月23日 3月定例会

## 3月

- 23日 議会だより編集委員会  
議会運営委員会理事会  
名鉄西尾・蒲郡線存続協議会

5月市議会臨時会は、5月11日(月)に、6月市議会定例会は6月12日(金)に開会する予定です。詳しい日程は、議会事務局へお問い合わせください。

なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。

本会議の傍聴を希望される方は会議当日、市役所新館7階の議会事務局で手続きをしてください。

5月臨時会・6月定例会予定



## 東三河広域連合議会

2月9日、10日に東三河広域連合議会2月定例会が豊橋市議会議事堂で行われました。今定例会では、令和8年度一般会計予算や条例案など計9議案を審議しました。また、蒲郡市選出の日恵野佳代議員が一般質問を行いました。

議会だよりは点字版、CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは蒲郡駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院、市立図書館にも置いてあります。



近年、大型クルーズ船の旅がブームになっております。日本の各地を訪れ、なかには海外が目的地の企画など様々な種類の旅があります。

ひとたび地上を離れ船内に入ると、そこは高級ラグジュアリーホテルのような装い。洋上では特別な時間がゆっくりと流れています。乗組員やスタッフの最上のおもてなしをはじめ、フレンチ、和食、イタリアンなど極上の食事、ショーやダンスなど趣向を凝らしたエンターテインメント、寄港地での文化や人々とのふれあいなど、まさに非日常の特別体験を味わえます。

現在、蒲郡市ではこの大型クルーズ船の誘致に力を入れており、これまで多くの受入れを実施してきました。手筒花火やチャラボコ太鼓などで入港を歓迎したり、地元海産物や繊維織物製品、土産、菓子などの販売をしたり、乗船者向けの寄港地ツアーの提案などを行っています。

みなとの賑わいと地域の活性化、蒲郡市の観光発展のため、今後も積極的にクルーズ船誘致に取り組んでほしいものです。

## 議会だよりをスマホへ配信します！

下のコードを読み込むか「マチイロ」で検索

無料です!



## 今月の紙

## 桜と鯉のぼり

5月5日(火)は『こどもの日(端午の節句)』です。春の麗らかな気候のもと、健やかにお過ごしください。

